

平高新聞

第9号

発行：長崎県立平戸高等学校教務部

平成24年12月21日

校長室から

「平戸高校はなくなるんだって」

「だって」の後に「？」マークならまだしも、時には「！」マークつきで実しやかに語られる話を本校職員も耳にし、報告してくれます。この半年間に2度や3度ではなかったので、皆さんもどこかで聞かれたことがおありだと思います。結論を言うと「平戸高校はなくなりません」。永遠にとは申しませんが、少なくとも5年、10年の間に平戸高校がなくなることはあり得ません。人間と同様、学校にだって最期は訪れます。役割を終えた時になくなるのは当然です。しかし、今はその時期ではない。皆さんはどう思われますか。

本校は、再来年の平成26年に平戸高校として独立して40年目の節目の年を迎えます。当時の様子は皆さんがよくご存じだと思いますが、500名以上の生徒がいた賑やかな時代もありました。それが今では170名です。

確かに、こんなに少なくてはやりたい部活動が思うようにできないという問題点はあります。しかし、入学してきてくれた生徒に先生方は全力で関わってくれています。中学時代の「超長欠」がうその様になくなった生徒、未経験だった部活にのめりこみ充実した学校生活を送っている生徒が何人もいます。さすがに難関校は無理かもしれませんが、本人の努力次第では大学進学だって可能ですし、今年は公務員（県職）にも合格しています。この数年、就職内定率は100%を保っているのです。

1月の主な行事予定

1月 8日（火）	3学期始業式 全校一斉容儀指導
1月19日（土）～20日（日）	センター試験
1月20日（日）	全商情報処理検定
1月21日（月）	3年学年末考査時間割発表
1月25日（金）	ジョブガイダンス
1月26日（土）	進研模試（1、2年）
1月27日（日）	全商簿記実務検定、進研模試（2年）
1月28日（月）～31日（木）	3年学年末考査

このように平戸高校は、高校としての役割を立派に果たしています。ここ草積の丘に存在する確かな理由がまだまだあるのです。年が明ければ、高校入試の願書受付が始まります。無責任なうわさを耳にされたら「そんなことないよ」と強く打ち消してください。平戸の中・南部に高校を存続させられるのは、職員ではありません。地域の皆さんなのです。県が「閉校にします」と決定してからではどんなに存続運動を行っても効果はありません。

年明け早々（回覧板に挟まれるのは1月）、暗い話題になってしまいましたが、少しでも明るい方向に進めるよう、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



親と子の料理教室



12月6日（木）今年で13回目となる「親と子の料理教室」を行いました。

生徒と保護者、地域の方も含め40名が参加し、いなりずしやかまぼこ、チーズや焼き海苔でクマの顔を作ったりして「キャラ弁」づくりに挑戦しました。

2 年 修 学 旅 行

2年生は、12月11日（火）から14日（金）の3泊4日で関東方面へ修学旅行に行ってきました。

8時に学校を出発して福岡空港より飛行機で東京へ向かい、浅草寺と仲見世を見学した後、劇団四季の「オペラ座の怪人」を鑑賞しました。

2日目の午前中は系列に分かれて研修を行いました。人文系列は早稲田大学訪問。情報系列は森永乳業東京多摩工場見学。福祉系列はユニセフ訪問。のちに、しながわ水族館で合流して見学しました。その後夜の東京ディズニーシーへ行き、短時間ではありましたが、とても充実した時間を過ごすことができました。

3日目は東京スカイツリーの見学の後、東京都内班別自主研修を行いました。前もって立てた計画に従って、それぞれお台場や秋葉原、渋谷・原宿、上野のアメヤ横町などを散策し、研修を行いました。乗り慣れない電車などにとまどいながらも、全員無事にホテルへ戻ってくることができました。

最終日は国会議事堂や霞ヶ関付近を見学した後、平戸へ帰ってきました。



ク ラ ス マ ッ チ

12月20日（木）クラスマッチが行われました。男子はバスケットボール、女子はドッジボールで熱戦が繰り広げられました！

男子バスケットボール優勝：3年2組Aチーム

女子ドッジボール優勝：3年3組



11月の出席率 99.1%